

Composition

2003.June.19
箕原辰夫

■レイアウトについて

★レイアウトの原則（ノンデザイナーズ・デザインブックより）

- | | |
|----------|----------------------------|
| ・近接 | 同じ情報は、近くにまとめる |
| ・整列 | グリッドの線を揃えることによって情報を関連付ける |
| ・コントラスト | タイトルは大きく太く、本文は細く小さく |
| ・繰返し | まとめかたは、統一感をもって行なう |
| ・逆三角形 | 上が長く大きく、下が短く小さく（視線の順番で） |
| ・余白（版面率） | 余白の量が多くなることに、情報への視点集中化を促せる |

★Web上のレイアウト

640×480あるいは、800×600の4 : 3の比率の中で構成することを考える。

典型的な8つの様式

左右揃え、パノラマ、衛星、組み写真、囲い込み、散らし、片流れ、シンメトリー

■組版（デジタル@デザインより）

★DTPレイアウトについて

- ・フォーマット設計（版面、天、小口、ノド、地、トリムマーク（トンボ））
- ・グリッドシステム

★欧文組版について

- ・行間（行間、字下げ（インデント）、行揃え）
- ・スペーシング（カーニング、ペア・カーニング、トラッキング）
- ・組版による誌面濃度の変化

★和文組版について

- ・仮想ボディ
- ・ヨコ組・タテ組
- ・和欧混植、混植によるベースラインの移動

■Illustratorによるレイアウト

★ガイド作成

ガイド…印刷は、されないオブジェクト

ガイド化…オブジェクトを選択し、画面メニューのガイド→ガイドの作成でガイドにスナップ…ガイドに添って、オブジェクトを配置することができる

★テンプレート作成

ページツールで、ページの原点を定める。

トンボ（トリムマーク）の作成で、フォーマット（印刷される枠）を決める。
選択してガイド化する。

★グリッド分割

テキストボックスを描画し、文字メニューの段組み設定で、段組みを設定する。

複数ページの場合には、全ページ分1つのシートとして用意し、

オブジェクトメニュー→変形→移動で、数値入力して、テキストボックスを移動・コピーしていく。

2つのテキストボックスを選択し、文字メニューで、ブロック→リンクで連結をする。

■平面の構成

★構成のポイント

- ・対比と調和…対立させるのか、統一感を持たせるのか、そのバランスは？
- ・強調点…何を見て欲しいのか、それは1つに絞れているのか？

★構成手法

要素を構成するための手法としてどのようなものがあるか

バランスと波長、コントラスト、強弱とめりはり、緊張感、ムーブメント、方向
リズム、シンメトリー、グループピング、繰返し、遠近、透視、陰影・立体表現
デフォルメ、硬軟、アクセント

★制作手法

制作のコンセプトの手法としてどのようなものがあるか

コンポジション、秩序、ポイント、ホワイトスペース、レイアウト、インパクト、
メッセージ、モチーフ、ディストーション

■ダイアグラムの構成

ダイアグラム…グラフなどの図でデザインされたもののこと
その他に、関連図、解体図など様々な図による表現がある

■色彩の構成

★イメージの表現

・寒色／暖色	・派手／地味	・硬感／軟感	・軽／重感
・強弱	・陰陽	・興奮／沈静	・明暗
・清濁	・男女	・子供／大人	・高級／軽薄
・自然／人工	・日本／アジア／エスニック／西洋		

★色彩計画

対象作品が使われる用途、環境に配慮する

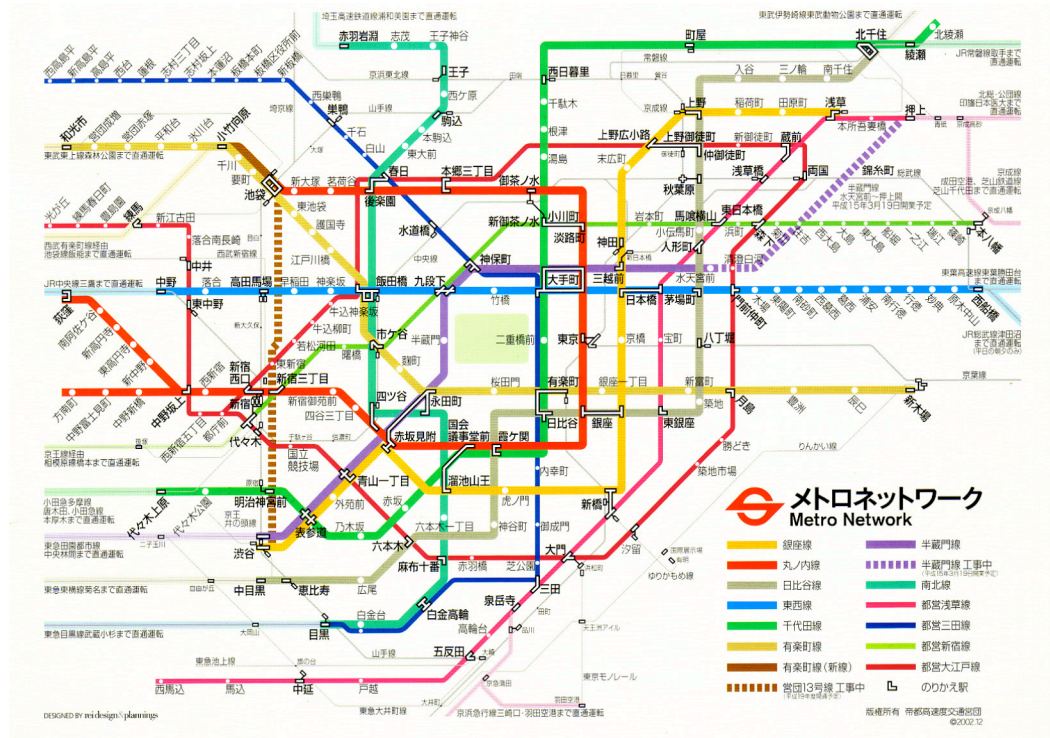
明度、視認性、誘目性、色の統一感、対比（補色）、光源色、面積、風土や季節、テクスチャによる色

■参考図書

- ・視覚表現—コンピュータ時代のベーシックデザイン、南雲 治嘉、グラフィック社
- ・ノンデザイナーズ・デザインブック、ロビン・ウィリアムス、毎日コミュニケーションズ
- ・造形の基礎を学ぶ、藤村克裕、美と創作シリーズ・京都造形芸術大学編、角川書店
- ・デジタル@デザイン、渡部隆志・由良泰人・有賀妙子、秀和システム
- ・ヴィジュアルデザイン1、平面・色彩・立体構成、日本グラフィックデザイナー協会教育委員会編、六曜社
- ・図説インフォメーション・グラフィックス、ピータ・ウィルバー、マイケル・バーク、MdN
- ・芸術・デザインの平面構成、朝倉直巳編・著、六耀社
- ・芸術・デザインの色彩構成、朝倉直巳編・著、六耀社
- ・Webデザイン基礎講座、視覚デザイン研究所編、視覚デザイン研究所
- ・レイアウト基礎講座、視覚デザイン研究所編、視覚デザイン研究所
- ・配色アイデア見本帳、石田恭嗣、MdN
- ・タイポグラフィの読み方、小泉均、美術出版社
- ・タイポグラフィトゥデイ（新版）、ヘルムート・シュミット、誠文堂新光社
- ・Illustratorでデザイン+レイアウト、DTPWorld、2003年4月号、ワークスコーポレーション

■課題

東京の地下鉄の路線はどうかしている。こんなスパゲッティをやっているのは、世界だけでも東京だけだ。他の国では、複数の路線が、同じプラットフォームに来るなりしてなんとかやっている（例：ミュンヘンなど）。さて、諸君に、現在の駅をそのまま残しつつ、理想的な路線配置はどうあるべきか、デザインしてもらいたい。そのダイアグラムを描いて欲しい。共に地下鉄の王道楽土を構築せん！現在の地下鉄は、いろいろな線に乗り入れているので、山手線内部+α（大江戸線内部や浅草・押上ぐらゐまで）の中心として必要な部分だけでよい。また、営団と都営を分ける必要はない（このようなおかしなことになっているのも日本特有だ）。ちなみに、現在の狂った地下鉄の路線図を以下にスキャンしたので載せておく（3月に開通した半蔵門線の水天宮～押上間は反映されていない）。



1つのJPEG形式のビットマップ画像に変換（ファイルメニューの「Web用に保存」を使うのが簡単）し、指定のフォルダ（public_html/designworks/）に保存し、Web上に公開しなさい。なお、ファイル名は以下のような形にする。自分で見れるか、一度確認せよ。ファイルサイズが大きくならないように注意しなさい。

subway_名前.jpg

例：subway_TakashiHattori.jpg

メールで担当者にURLを報告されたい。また、授業の感想なども併せて報告されたい。URLの報告は、次の授業開始前までとする。

宛先： minohara@sfc.keio.ac.jp

表題： designb-6